

■下水道事業特別会計

公共下水道事業は、水源保全と生活環境の向上のため、昭和49年に都市計画決定され、昭和55年に下水道法の事業認可を受けてスタートしました。

平成26年度末、事業計画区域は220.3haで整備済みの区域は197.6ha(89.7%)、整備済区域の住民の内91.4%が下水道を使用しています。

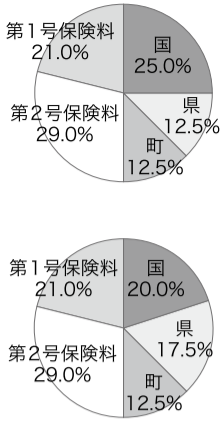
下水道使用料は前年度比2.1%増となり、歳入総額は増加しました。また、歳出のうち、維持管理費用として酒匂管理センター(処理場)の負担金5540万円を支払っていますが、これには下水道使用料を充てています。

■介護保険事業特別会計

介護保険制度は、要介護認定・要支援認定を受けた皆さんが利用したサービスの費用を国・県・町や被保険者の保険料で、それぞれ法律で定められた割合に応じて負担する仕組みとなっています。平成26年度の介護給付費の総額は、前年度比5.6%増の7億9325万円となりました。

また、地域支援事業において、地域包括支援センターを運営し、総合相談に対応するほか、介護予防のための事業を行うなど、高齢者の皆さんが未長く住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるように支援しています。

公費など負担の割合



居宅給付費

施設など給付費

■用地取得特別会計

用地取得特別会計は、公共用地又は公用地若しくはその代替地の先行取得事業の円滑な運営とその経理の適性を図るための会計です。

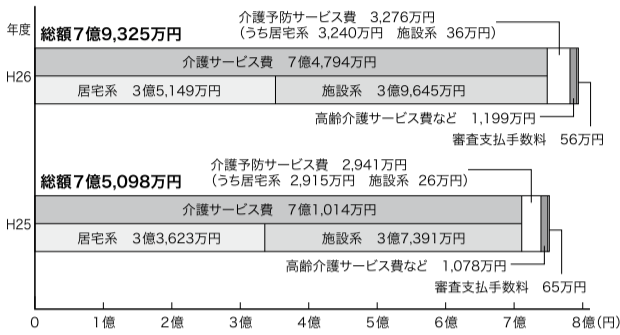
歳入が前年度比1287.9%増となっていますが、松田警察署の建替えのために神奈川県に土地を売却したことによるものです。また、歳出は、用地取得に係る長期債の元利償還金の支払いです。

■後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度は、75歳以上の方と65歳から74歳で一定の障害があると認定された方が対象です。保険料額の決定や医療の給付などは神奈川県後期高齢者医療広域連合で行っていますが、申請や相談などの事務や保険料の収納は町が行っています。

医療費は年々増えており、高齢化に伴い財源の一部となる現役世代の負担も増えています。日ごころからの健康づくりに関心掛け、医療費の節減に努めることが、健全な財政運営につながります。

介護保険サービス利用状況



財政健全化法における指標と松田町の町債

財政健全化法について

財政健全化法とは、自治体の財政状況を指標で明らかにし、財政の健全化や再生が必要な場合に迅速な対応を取ることで、自治体の破たんを早期に是正するための法律です。毎年度、自治体の決算などを基に算定した指標を公表し、指標が早期健全化基準(公営企業会計は経営健全化基準)、またはそれよりも悪化した場合の財政再生基準を超える場合には、それぞれ計画を策定し財政健全化(経営健全化)または財政再生に取り組みなければなりません。

○平成26年度における指標

指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
指標の説明	一般会計等の赤字を財政規模で除算したものです。赤字ではないため該当しません。	全会計合算の赤字を財政規模で除算したものです。赤字ではないため該当しません。	一般会計等が負担する町債の元利償還金を財政規模で除算したものです。	町が将来負担すべき町債残高などを財政規模で除算したものです。	公営企業会計の資金不足を財政規模で除算したものです。資金不足の会計はありません。
平成26年度	-	-	6.8	67.0	-
平成25年度	-	-	7.4	69.8	-
早期健全化/財政再生基準	15.0%/20.0%	20.0%/30.0%	25.0%/35.0%	350.0%/-	20.0%/-

○指標算定における対象

一般会計等	一般会計 用地取得特別会計	実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
公営事業会計	国民健康保険事業特別会計 国民健康保険診療所事業特別会計 介護保険事業特別会計 後期高齢者医療特別会計	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
公営企業会計	下水道事業会計 寄簡易水道事業特別会計 下水道事業特別会計	資金不足比率 (会計ごと)		
一部事務組合	足柄上衛生組合、 足柄東部清掃組合など			
第三セクター	(有)みやまの里			

松田町の町債の状況

平成26年度の町の指標は、全て基準を下回りました。実質公債費比率は元利償還金が減少したことなどにより前年度比0.6ポイント減となり、将来負担比率は公営企業会計の借入残高が減少したことなどにより前年度比2.8ポイント減となりました。

公共施設の整備など、投資的事業は多くの資金を必要とし、また、これら事業の効果は長期間にわたり町民の皆さんが受けることとなります。このようなことから、その年の歳入だけで賄うのが難しい大規模な投資的事業などに対して、国や金融機関などから借り入れるのが町債です。

平成27年度松田町一般会計補正予算の主な内容

一般会計補正予算第2号 平成27年8月28日議決 既定の歳入歳出予算に33,772千円を追加

歳入

- 地方交付税 △14,749千円
- 個人番号カード交付事業費国庫補助金 4,380千円
- 前年度繰越金 33,022千円
- 臨時財政対策債 8,208千円

歳出

- 住民情報システム管理経費 (神奈川県町村情報システム共同事業組合負担金など) 9,773千円
- 個人番号制度管理費 (個人番号カード関連事務交付金など) 4,240千円
- 母子保健事業 (特定不妊治療助成金など) 2,000千円

- 松田小学校学習支援事業 731千円
- 予備費 15,819千円

平成27年度一般会計予算総括表 (単位:千円)

補正前の予算額	補正額合計	補正(第2号)後の予算額
4,041,669	33,772	4,075,441

